

勝山市総合行政審議会（第15期第4回） 結果概要

開催日時 平成30年10月1日（月） 午後7時～午後9時
開催場所 市役所3階 第2・3会議室 第2委員会室
出席者等 出席委員13名
説明者 建設部建設課、都市政策課、上下水道課、
教育部教育総務課、史蹟整備課、生涯学習課、
スポーツ局スポーツ課、国体推進課、
市民生活部長、市民・環境課、税務・収納課
事務局 上出総務部長、総務部未来創造課 前田主事

議 題

平成29年度勝山市政策基本目標管理について

Aグループ（観光・まちづくり分野）

担当委員4名

第1章 すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり

1.2. 効率的・効果的な行財政の運営

1.2.2. 公平・適正な税制運営等による歳入の確保 について

●委員

- ・数値目標 市税収納率（現年度、国民健康保険税除く）について、市税収納率が上がっているが、平成29年度は99.3%となっている。残りの0.7%については、納税者と会えないのか、払ってもらえないのか。原因は何か。

○説明者

- ・0.7%は課税をしたが納めていただけなかった分である。経済的、一時的に困窮していたり、納税できる経済状況でなかったり理由は様々である。地方税法により納期（20日）が過ぎても納めていただけなかった分は督促状を出してお願いしている。このように一年通して法律・条例に沿って納税していただけるよう働きかけを行っているが、どうしても納めていただけなかったのが0.7%分である。これについてもそのまま終わるのではなく、滞納繰越分として、次の年度以降も催告状を出す等の働きかけを行い、それでもどうしても納めていただけない場合に滞納処分を行っている。

●委員

- ・滞納処分というのは差押えのことか。

○説明者

- ・差押えも滞納処分の一環である。

●委員

- ・収納をしやすい形を受け入れるという体制の方が重要だと思う。どうしても払えない場合は分納などもしているのか。

○説明者

- ・相談を行い、誓約書を書いてもらって生活に支障がない範囲で分納を行っている。納税者の便宜を図るという意味で、今年度からコンビニ納付も開始し、口座振替の人の内約3割の人に納めてもらっている。納税の便宜を図ることで徴収率を引き上げていきたいと考えている。

●委員

- ・徴収率は全国的にみて高い方なのか。

○説明者

- ・高い方である。大都市部では97%、全国的には95%といったところもある。

●委員

- ・地方では耕作放棄地や所有者不明の土地建物が増えており、納税されないということが問題になっていると聞いた。日本では九州ぐらいの土地が所有者不明とのことだが、勝山ではどれぐらい把握しているのか。

○説明者

- ・相続がされなくて相続人が見つからず、なかなか所有者が特定できない、というケースはある。勝山市全体でどれぐらいか、ということは把握したことはないが、相続放棄は増えている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

126. 広域行政の推進 について

●委員

- ・勝山市は世界一クリーンな都市とも言われているが、全体的にどのような取組みがあるか。

○説明者

- ・ごみについては大野と勝山で広域行政事務組合を設置して処理している。勝山・永平寺衛生管理組合では下水道以外の汲み取りや浄化槽の汚泥について処理を行っている。し尿処理施設は老朽化が進んでおり、将来的には新しい処理環境が必要となる。去年はMICS事業について、下水道処理センターに接続してうまくできないか、加えて建設費がかかるため、できる限り、国の補助を使って負担を少なくしながらできないか等を検討したが実施は難しく、今年も新たな国の事業をりようできないか検討している。

●委員

- ・老朽化とはどのような状況か

○説明者

- ・し尿処理については従来、下水道もなかったことから、勝山・上志比で一緒に組合をつくって汲み取り、あるいは浄化槽で出てきたものの処理を行っていた。下水道が普及し、施設の処理能力はあるが、処理するものが入ってくる量が減少しているため、将来的に修理をして継続していくのか、違う方法で処理していくのか過渡期に来ているところである。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

1 5 . 各地区等の地域力向上の実現

1 5 1 . 市民が主体となった地域力の向上 について

●委員

- ・利用しやすい効率的な地域交通システムの構築について、福井勝山総合病院から大野まで行けるというのは魅力である。ダイヤ改正により、車利用者以外に対して、他の観光施設への案内もできるようになった。バスで勝山城から駅に戻るような人も見かける。市民の方で普段、車に乗らない方や、観光客の方にもダイヤ改正は優しかった。

○説明者

- ・田舎の方は住んでいる人が少ないうえに車で移動する人が多いため、バスの利用があまりなされず、バスが使われないと本数が減ってしまう。地区からの要望等を受けて、できるだけ便利になるように変更できるところは毎年少しずつ変えている。

●委員

- ・同じバスの運転手が違う路線で運転しているのを見かける。バスの運転手はみんな勝山の会社の人なのか、また運転手は少ないのか。オフシーズンでも観光客はいる。マイカーの方は多いが、恐竜博物館を目指している人もいるため、バスの本数もできるだけあったらと思う。

○説明者

- ・勝山のバスは3つあり、大野と勝山を結んでいるのは京福バスである。ここは、運転手が比較的多いため、勝山の方ではない方もいる。勝山の南側は大福交通、北郷の方は勝山交通の運転手が担当しているが、バスが月に2本や3本の時には空いている時間があることから、時間があれば違う路線も運転してるのだと思う。

●委員

- ・知っている運転手は野外恐竜博物館のバスツアーの運転手もしており、幅が広いと思うのと同時に、運転手の数が少ないのかなと感じた。

○説明者

- ・運転手が少ないのはネックになっている。バスだけではなく、トラックやタクシー等の交通関係の運転手は全国的に減ってきており、これからの問題だと感じている。

●委員

- ・オフシーズン（冬）はバスが減る。オフシーズンでも観光客はおり、マイカーの方が多いため、スキージャンプだけでなく恐竜博物館を目指してやってくる方もいる。バスは雪にも強いし、今年の大雪でもバスが走っていればいいのにといい声も聞く。冬季のバスの運行についてはどうか。

○説明者

豪雪時は除雪が追い付かず、バスの道幅を確保できないことから運休とした。冬になるとバスの本数が減るとするのは平泉寺行きの観光バスについてだと思うが、12～2月は、1日に数人程度と利用者が少ないため、平成29年からはやめさせていただき、その分夏場に重点を置いている。

●委員

- ・小回りの利く「あおぞらくん」の様なマイクロバスの運行も一つの手なのではないか。

○説明者

- ・人数が少ない所ではマイクロバスが運行している。会社も持っている車の種類が限られているため、うまく活用していきたい。

●委員

- ・夜にタクシーは何台走っているのか

○説明者

- ・現在、夜は2台走っている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

第2章 誰もが安心して暮らせる人にやさしいまちづくり

25. 安定した医療、保険制度の実現

252. 安定した国民健康保険制度の運営 について

●委員

- ・数値目標 国民健康保険税の収納率について平成29年度で98.4%とある。目標値は100%にはなっていないが、どうしても一定数は回収できない見込みなのか。また、その理由は何かあるのか。

○説明者

- ・市税を納めていない人が0.7%いるとの答えは基本的に先ほどと同じである。国保税は目的税であり、国民健康保険にしか使われない。国民健康保険に入っている世帯に課税をするが、市民税等とは違って、所得がない方も税金は0円にならず、均等割と平等割で年5万円がかかる。税金の軽減はあるが10割の軽減（全額免除）はないため、低所得者の方で、一時的にお金が必要になり保険税が納められないというケースが他の税金より多く発生し、他税に比べて徴収率が1%~2%低い数値という状況がずっと続いている。

○説明者

- ・従来、市単位で保険者となって必要な医療費を計算し、税額を決めていたが、平成30年から制度が変わり、県に一本化された。今までは所得割、資産割、均等割、平等割の4本立てだったが、税率を見直し、資産割を廃止することとした。その分、所得割が高くなっているが、所得がなく資産だけ持っており、税金を払えなかったような方については、税額が下がる予定である。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

26. 安全安心に暮らせるまちの実現

264. 交通安全対策の推進 について

●委員

- ・運転免許証返納の促進等による高齢者が関係する交通事故減少に向けた取組みの強化について、自主返納の事業を進めているということだが、高齢者で運転している人は現在も多いのではないか。

○説明者

- ・車社会のため、今の高齢者の方は女性でも若い時に免許をとり、夫婦で運転しているような人たちもいる。いつかは運転をやめないといけませんが、なかなか免許返納のふんぎりがつかないのだと思われるため、市では免許を返納した人には無料の乗車券をお渡しして、返納の動機付けにしている。

●委員

- ・80歳以上の人で運転している人のデータはあるのか。

○説明者

- ・持ちあわせていない。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

266. 交通安全対策の推進 について

●委員

- ・幼児期から高齢期まで年代に応じた消費者教育の推進について、学校の生徒や幼児対象の事業の記載はされているが、高齢者についての記載がない。実施していないのか、それとも記載していないだけなのか。また、年間消費生活相談件数について、目標値も実績値もともに増加しているが、件数が増加するのはいいことなのか、増えるのはどういう理由なのか。

○説明者

- ・消費者教育については出前講座の開講など、今まで高齢者を中心的にやっていた。また、消費者教育推進計画を策定するにあたり、幼児期から高齢者まで全ての年代、様々な項目で教育をやっていくという計画とするなかで、幼児向けの教育は手薄だった。そのため、この計画の策定にあわせ、交流がなかった小中学校や児童センター等で消費者教育を行った。今まで行っていなかったところを中心に記載したが、高齢者向けの教育はないわけではない。施策指標については、過去には損害額のうち取り戻した金額を書いていた時期もあったが、特殊詐欺等の事例等については、消費者の範疇から警察の範疇へと変わり、取り戻した金額をつかみきれないほか、金額も多い方がいいのか少ない方がいいのか分かりにくいため、変更した。相談件数についても多いことはいいことなのかという話になるが、相談件数の中には、振り込め詐欺のハガキが届いた際の確認といった、詐欺にひっかかる前の事前相談を半数以上含んでおり、消費者センターへの相談は消費者センターの認知度向上にもつながるということで施策指標として設定した。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

第4章 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり

4.2. 人にやさしい交通体系の確立

421. 利用しやすいバス体系の整備と利用促進 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 2 2. 乗りやすい鉄道の整備と利用促進 について

●委員

- ・数値目標えちぜん鉄道の勝山市内駅の年間利用者数について、減少しているのは新しい道路ができたことも影響しているのか

○説明者

- ・学生利用者が1人減ると、200日×2回（往復）で400人が減ることになり、少子化をはじめとした人口減少の影響も大きい。また、1日あたりの利用人数は450人ぐらいになるが、雪の関係で9日間電車がストップしていた影響もあり、昨年度より利用者数が減少したと考えられる。えちぜん鉄道全体としては、雪の影響により、車より電車の方が便利だという意識が生まれ、豪雪時以降、利用者は増えている。しかし、勝山ではストップした間の人数を取り戻すだけの利用はなかった。

●委員

- ・勝山駅の近辺で観光客向けに目玉となるようなものができればいい。

○説明者

- ・お盆の時期にえちぜん鉄道が1週間ほど、お酒を飲める、デザートも食べられる、おつまみもあるという旅カフェというイベントを実施したが、これを目指して勝山に来るといほどのものではなかったように思う。

●委員

- ・田舎を走る私鉄は、都会では今ブームになっている。えちぜん鉄道は景色もきれいで、それだけで観光資源となるものである。勝山の方がネックに思っている冬だが、都会の人は歩くことは苦でなく、公共交通機関を使うことも旅行で楽しみだと思っていることが多いため、雪景色を楽しみながら鉄道に乗って勝山駅からバスでスキージャムに行く旅行プランを提案すると面白いのではないかな。

●委員

- ・スキージャムの利用者は減っているのか

○説明者

- ・利用者はピーク時よりは落ちている。雪の量にも左右されるが、オンシーズンの変動幅をオフシーズンでカバーする。少し話はそれるが、今年、スキージャムでのイルミネーションを実施し、予想以上の客入りがあった。スキージャム行きのバスは勝山駅から出ているが、乗り換えがあるため、福井で泊まってバスでスキージャムに向かうというのがメインになっているのが現状である。

●委員

- ・えちぜん鉄道の延伸について、市民運動は盛り上がっていないのか。火をつけてみてもいいのではないかな。

○説明者

- ・勝山橋は構造的に線路を乗せるのが無理だと聞いている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないかな。

●委員

- ・異議なし。

4.3. 環境や景観に配慮したまちの実現

4.3.1. 循環型社会の構築 について

●委員

- ・**集団回収の推進について**、実績が増えているのはいいことだと思う。もっと補助金のこと等を周知していけばいいと思う。

●委員

- ・**ごみ分別の徹底について**、コンポスト購入の補助ということだが、コンポストは使用されているのか。

○説明者

- ・使用している人からは、肥料を作っても大量にできてしまうため使うところがないという話を聞いている。

●委員

- ・**各種団体等のリサイクル活動の推進について**、以前には学校か団体かによる服の回収があったが廃止になったと回覧版で知った。車がなく、大野まで捨てるに行くことができない人にとって、回収は役に立っていたのではと思うが、なくなったのは残念である。携帯電話やスマートフォンの回収については知らなかった。市役所窓口での回収は、オリンピックに向けて金属回収の機運も高まっていることから、もっと知らせてもいいのではないかと。父母より子どもの方が携帯の買い替えは激しいことから、HPなど若い人にも目につく形で周知するといい。回覧板では一回だけだと見逃してしまうこともある。また、リサイクル活動について、かつやま恐竜の森ではペットボトルのフタをアートにしているが、もっと色々なところでやってもいいのではないかと。エコミュージアムを打ち出しているのなら、フタはありきたりのため、勝山駅前等で子ども達に協力してもらいながら何かできるといい。子どもが主体となりがちだが、親子で参加できたりするなど、子どもだけでなく、みんなが楽しんで参加できるリサイクル活動をイベント化することにより、エコミュージアム勝山というイメージにもつながるのではないかと。

○説明者

- ・年間のごみの排出量は若干だが減少している。ただし、ごみの減少よりも人口の減少が大きく、分母で割る数が少なくなっているため、ひとり1日あたりのごみの排出量は増えている形になっている。観光客が増えてもごみは増えると考えられる。一般廃棄物のリサイクル率について、これは大野の施設に入ってくるごみの中で、古紙やペットボトル等といったものをどれだけリサイクルしたかの率だと思われる。相反するが、集団回収が多くなると入ってくるごみも減るが、リサイクルできるごみも減ってくると考えられる。消費センターでリサイクルしなくても、サンプラザ等のスーパーでも古紙やペットボトルを集めており、そうい

うところに出す人も増えているため、リサイクル率は下がっているが全体的にはどうなのか
と
思っている。古衣類については、集団回収で出すと色々な繊維素材が入ってくるため、リ
サイクルしようとすると、再び撚って製品を作るのに経費がかかることから廃止とした。

●委員

- ・食用廃油の回収を月1回行っているということだが、回収して捨てるだけなのか。敦賀のイルミネーション「ミライエ」では市民から回収した植物油を滋賀県の会社へ送ってバイオディーゼル燃料にして発電機の燃料にしている。最初は何百リッターかしか集まらなかったが、北陸で一番きれいなイルミネーションに選ばれ、市民意識が高まったことから、2トン近く集められている。勝山市でも溜めて、コストとしてはあわない可能性もあるが、ゆめおーれのイルミネーション等で燃料として使えないか。そういう風に使えば、自分の家のサラダ油が、イルミネーションの一助となり点灯していると思えるようになり、回収率も上がるのではないかな。

○説明者

- ・廃油は大日園が集めており、売り物ではないが石鹼の材料にして加工を行っている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 3 2. 低炭素社会の構築 について (報告書 9 頁)

●委員

- ・IS014001 自己適合宣言の維持・推進について、関係者の学習などがたいへんではないか。

○説明者

- ・業者の方に入ってもらい、指導・点検をしてもらっていたが、数年経ってからはそれらを内部監査にして職員同士による監査を平成29年度まで行っていた。平成30年度からは紙の裏面利用など、ある程度定着してきたものもあり、福井への出張も県庁であれば電車に乗っていくなど、大まかなところはできていることから、職員の一年間の負担とならないよう簡単な項目は変更していきたい。

●委員

- ・新エネルギーの調査・研究について、道の駅の完成後、雪室貯蔵品も強く打ち出して、野菜等をお土産で販売しているといいのではないかな。観光客には地場産の野菜は目に入りやすく、雪室の野菜は甘くおいしいため、ぜひ商標化してほしい。

●委員

- ・JAの倉庫から道の駅に雪室を広げるとあるが、そのような予定でいるのかな。

○説明者

- ・重点道の駅に選定された時には雪室が検討されていたが、現段階の計画では雪室は入っていない。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 3 3. 環境保全・保護・美化活動の推進 について

●委員

- ・市民が行う清掃活動への支援拡充について、小中学校での清掃支援とはどういうことを支援しているのか。

○説明者

- ・中学校での河川清掃の際には、担当者が分別の方法等を説明して回収を行い、回収して戻ってきたら、手伝いながら分別を行っている。今年のクリーンアップ九頭竜では3中学校の生徒会が自主的に話し合いを行い、参加してくれた。

●委員

- ・2006年フォーブスに「世界で最もきれいな都市第9位」に選ばれたが、今から12年前のことであり、現在の小学校6年生が産まれたぐらいの年であることから、今の子ども達は選ばれたこと事態を知らない。紹介することで意識も上がるのではないか。

●委員

- ・教育委員会サイドからユネスコスクールやESDの観点で関わり、子ども達に伝えていくといいのではないか。

○説明者

- ・あれ以来フォーブスがランキングを出しておらず、電子版のため紙媒体でも残っていない。

●委員

- ・生態系保護、保全活動（希少動物の保全と希少動物の保全）について、池ヶ原湿原の保全活動を勝山で行っていると聞くが、内容を説明していただきたい。

○説明者

- ・保存するためにエリアを全部狩るのではなく、ブロックで1年ごとに違う場所を狩って、ローテーションで全体に行き届くような保全の仕方をしている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

B グループ（農林業・建設分野）

担当委員 5 名

第 1 章 すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり

1 1. 市民が主体となったまちづくり

1 1 1. 市民の市政への参画推進 について

○説明者

- ・資料について、道路舗装補修材の 16 地区を 14 地区に訂正願いたい。16 は件数だった。そして、施策指標の 97 団体を 96 団体に修正願う。

●委員

- ・公共施設の維持管理に関する市民の参加促進について、生コンの支給は止めたのではないか。前年は生コンを支給してもらったが、次の年は市がしますとの回答だった。

○説明者

- ・原材料支給は継続して行っている。案件によっては、市でやった方がいい場合等の判断で行っている場合がある。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

1 3. 多様な交流活動の推進

1 3 5. U・I ターンの推進 について

○説明者

- ・再度の訂正で申し訳ないが資料の訂正をお願いしたい。施策指標の実績について、U・I ターン者以外の件数も含んでおり、平成 28 年度の 27 件を 5 件に、平成 29 年度の 16 件を 6 件に修正願う。

●委員

- ・U・I ターン者がどこから転出してきたのか。また、どういう広報が実ったのか。

○説明者

- ・どこからというのは資料が手元にないので分からないが、申請書を確認すれば把握できる。

○説明者

- ・勝山市は平成 29 年度から移住促進に向けた専門の課であるふるさと創生・移住課を新設した。その課が全庁的に行っている移住促進の事業を取りまとめ情報発信を行っている。相談窓口

も設置しており、各事業の紹介をしている。

○説明者

- ・補助事業の要件について、勝山市の業者を使うこととしている。市内の業者には補助事業の説明を行っており、業者を通じての場合もある。

●委員

- ・土地を提供するような施策を行っているところもあり、ちょっとインセンティブが弱いのかなと思う。

○説明者

- ・親族以外の土地を購入する場合は50万円の補助をしている。新築の場合については、建物にも50万円補助し、合計で100万円を補助している。

●委員

- ・農業政策課にもお願いしたが、家庭菜園ができる住宅がないかという話がある。古民家を改修して住みたい、土地も取得したいという人がいる。そこで問題点として、宅地は取得できるが、付随している土地の地目が農地だと取得ができない。建設課と農業政策課で協議をして、どれだけ以下なら認めるといった話をしてもらえれば、スムーズに都会の人が田舎暮らしを満喫できる状況が創造できるのではないかなと思うため、両課で協議をお願いしたい。

●委員

- ・空き家情報は建設課で一括しているのか。

○説明者

- ・空き家情報バンクをHPに立ち上げており、現在は17件の登録がある。U・Iターン者の活用の場合、最大200万円まで補助を行っている。申し訳ないが、「7. 定住促進事業の新築住宅」の18件を1件に、中古住宅7件を3件に、「9. U・Iターン者空き家住まい支援の取得補助」の4件を3件に修正願う。

●委員

- ・空き家情報バンクは、見ている人が楽しめるワクワクするような、勝山に移住しようと思えるような内容にできるとよいと思う。

●委員

- ・仕事が福井市等で、福井市内や坂井市に家を建てる同級生がたくさんいた。便利さと補助制度のどちらがよいのか判断する。また、雪のことや睡眠時間のことなど、色々考えると思う。それを乗り越える以上の、例えば、融雪装置を付けると割増しの補助があるなど、近隣市町と同等なのか勝山の方が充実しているのかを伺いたい。

○説明者

- ・近隣市町の状況は把握していないが、屋根融雪については、別途補助をしている。近隣市町については研究していきたい。金額だけではなく魅力ある付加価値を付けられるように考えていかなければと思う。交通については、中部縦貫自動車道が福井市まで開通したことから、通勤時間は改善したと考えている。

○説明者

- ・国県は、親の近くに住む近居については補助を出すこととしている。同世帯のリフォームに

についても国県の補助を受けている。勝山市は市内に家を建てれば市独自で補助をしている。国は居住誘導区域を設定して、コンパクトシティの施策を行っている。

●委員

・Uターンで戻ってきて、家に付随する古い建物を解体する場合に補助はあるのか。

○説明者

・補助はあるが条件があり、建築士の資格のある職員が確認し、点数化する。その中である程度ひどい状態でないと対象にならない。対象になっても、解体後10年間は、例えば除雪の雪押し場などに使用すること等の条件が生じる。

●委員

・解体して住宅の延長として広くすることはできないのか。

○説明者

・補助で解体した建物の土地は、10年間公共的なことに無償で提供することとなる。

●委員

・どこへ行っても勝山市の除雪は本当にきれいだと言われる。建設課職員も寝ずに仕事をしている。他の市町との差別化というのは、そういう点でもできるのではないかと思う。除雪した後の脇の雪をみんなが、朝の5時、6時にスコップで川に流し出す。こういう市民性なんだ、きれいな街に住んでいるんだという姿勢をPRすることも大事ではないかと思う。お金ばかりではなくて、勝山市民の暮らし方をアピールすると、納得しながら感心して移ってくる人もいるのではないかと思う。

●委員

・市営住宅の入居条件は、例えば、1年以上住んでいないといけないといった条件があるのか。

○説明者

・市営住宅は、勝山市民であることや、所得であったり夫婦でないとだめといった条件がある。

●委員

・鹿谷雇用促進住宅の取得を考えたのか。

○説明者

・U・Iターン者の住宅を確保しようという思いがあり、雇用促進住宅の取得を検討したが、雇用支援機構が入札を行った。ただし、その入札条件では勝山市は手も挙げられなかった。雇用促進住宅は単身者であっても問題なく、所得の制限もない。

●委員

・採算があわなくなれば、交渉によって勝山市の取得もあり得るのではないか。

○説明者

・現状として若い人は、新しい民間のアパートに入居する傾向がある。市の住宅に入居している若い人は少ない。

●委員

・高齢者が多く定住する自治体があり、仕事はリタイアしていることから税金はそれほど入らないなど、いいのか悪いのかといった話を聞いたことがある。

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

第4章 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり

4.1. 効率的で人にやさしい都市基盤の実現

4.1.1. まとまりのある都市構成と土地利用の推進 について

- 委員
 - ・道の駅の近くの神谷製材所の跡地はどうなるのか。
- 説明者
 - ・市としては何もできない状態である。
- 委員
 - ・比島地区のあつみセキサンの跡地もそのままになっているが、勝山市の施策に活かすことはできないか。
- 委員
 - ・あの跡地も個人所有であり、なかなか行政で取り組むことは難しい。
- 委員
 - ・神谷製材所の跡地は、防災上はどうなのか。
- 説明者
 - ・総務課の担当になるが、災害対策基本法で第三者に危害が及ぶ恐れがある場合は、行政が代執行を行うことができる。現状として、今はそこまで踏み込めない状況である。
- 委員
 - ・すごく景観が悪い。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4.1.2. 道路網の整備 について

- 委員
 - ・市道の道路改修事業の実施について、北郷町坂東島から永平寺町への道路の街路樹が道に覆いかぶさっているが、管理はどうなのか。
- 説明者
 - ・その道は県道であり、県の管理となる。土木事務所に伝える。

●委員

- ・街路樹管理計画に基づく街路樹の伐採について、秋口に定期的実施しているが、伐採した枝が自由処分になっており、いかがなものかを感じる。

○説明者

- ・伐採木だが、市の方でヤードを確保できず、自由処分をお願いしている。

●委員

- ・産業廃棄物の分類には入らないのだから、ごみ処理施設で扱うのが本筋ではないか。市民が庭木を切って短くし、ごみ袋に入れて出すのと同じではないのか。

○説明者

- ・事業系の一般廃棄物の分類になるため難しいと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 1 3. 公園緑地の整備 について

●委員

- ・定期的な調査結果を踏まえた公園施設長寿命化計画の更新と計画に基づく修繕工事の実施について、公園は定期的に調査を行い遊具など更新していると思うが、滝波地区の公園の滑り台が使用禁止になっている。今後はどうなるのか。

○説明者

- ・1年以上使用禁止になり申し訳ない。今年度に入り修繕を行い、現在は使用できる状況となっている。

●委員

- ・最近、安全面で色々とトラブルがあったりして、あまり遊具を設置しない方向にあるような気がする。定期点検を行っても、なかなか安全対策は難しいのかなと思う。

○説明者

- ・新設は難しい状況であるが、既設の遊具については、点検結果等を踏まえ計画的に整備しているのが現状である。

●委員

- ・勝山恐竜の森の里山を活かした自然公園としての整備検討について、平成29年度の県立恐竜博物館の入園者数は少なかったのか。

○説明者

- ・平成27・28年度は90万人を超えた。ジュラシックワールドの映画の影響が考えられるが、平成29年度は一服した状況である。平成30年度は、ジュラシックワールドの続編映画の上映があり、再び増えており、昨年より1割程度増加するのではないかと考えている。ゴールデンウィーク中や夏場は多くの人があるが、冬場に課題がある。

●委員

- ・北陸新幹線の影響はどうか。

○説明者

- ・北陸新幹線の開業効果も非常にあり、えちぜん鉄道の利用もしくは、福井や石川のレンタカーを利用した来場者も多い。

●委員

- ・恐竜博物館の駐車場は有料にしないのか。駐車料金をもらって、その分を投資すればより満足してもらえる施設となり、市民の人も喜ぶのではないかと思う。

○説明者

- ・135haのうち85haを共用開始している。非常に大きな公園であり、維持管理の経費も当然かかっている。駐車料金など、なんらかの負担をしてもらい維持管理の経費に充てていくのは当然の考え方だと思う。公園は誰もが利用でき、費用を負担してもらうところはないが、長尾山総合公園は特殊なところがあり、何で負担してもらうか検討しないといけないということで従前から色々と議論している。ただし、具体的になっておらず、今後、何らかの形では実施していかなければいけないと認識している。

●委員

- ・料金を取ると、それだけで少しイメージが下がるかもしれない。公園だけに来て恐竜博物館に入らず帰る人は多くいるのか。

○説明者

- ・9割は県外客で、当然のごとく恐竜博物館に入る。

●委員

- ・県と申しあわせをして、入場料の5～10%を市にバックしてもらうなど、内容によっては可能ではないか。お金を集めるのは一か所でないとお客さんは嫌になってしまう。

○説明者

- ・県は恐竜を福井県のダントツブランドと考えており、金額的に非常に安い入場料を設定している。普通、美術館とか博物館というと1,000～2,000円は当たり前だが、720円に設定している。県も集客面を考えると、金額を上げることがイメージダウンになるのではと考えている。施策も色々考えているが、なかなか合意に至っていないというのが現状である。

●委員

- ・基本的に公園に関しては、徐々にやっていくしかないと思う。今日や明日で全てが新しくなるという話でもない。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 1 4. 河川の整備 について

●委員

- ・大蓮寺川改修事業の要望・協力について、大蓮寺川のバイパス工事の進捗はどうか。

○説明者

- ・川の改修はすべて完了しており、台風時等に溢れることはなくなった。現在のところ、バイパス工事については、国体の終了段階で本格的に俣川部分から改修をしていく予定だと聞いている。今後、目に見えて元禄線通りで工事が進んでいくと思われる。

●委員

- ・施策指標 三谷川流域における10年に1度確立の降雨に対する浸水区域面積の削減について、どの程度の状況をいうのか。

○説明者

- ・時間48mmの状況をいう。一級河川だともっと大きい値になる。

○説明者

- ・九頭竜川は一級河川になり50年確立になる。普通河川は48mmで設計を行う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 1 5. 中心市街地の整備 について

●委員

- ・自身が年の市の際、まちなか駐車場で販売を実施した。目の前のトイレはどこが管理しているのか。勝山市は公共トイレがたくさんあり、管理が大変だなと思う。

○説明者

- ・まちなか駐車場前のトイレは、市の観光政策課が管理している。そのトイレを廃止し、観光トイレを整備する予定である。建設課が管理しているトイレと観光政策課が管理しているトイレが存在する。

●委員

- ・道が非常に暗く感じるが、街路灯についての考え方をお伺いしたい。

○説明者

- ・集落間の街路灯は市も補助して整備をしている。市街地の防犯灯については区で整備をしているが、例えば、元禄線など大きな通りの街路灯は市で整備をしている。LED化についても市で補助して整備をしている。

●委員

- ・施策指標 えちぜん鉄道勝山駅における年間乗降者数とはどういう意味になるのか。

○説明者

- ・市外からの観光客等に対し、えちぜん鉄道を利用して市街地に呼び込むという施策を展開したいと考えています。

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4 3. 環境や景観に配慮したまちの実現

4 3 4. 景観形成の推進 について

- 委員
 - ・歴史的まちなみ景観創出事業の推進について、特定景観計画区域に平泉寺区と本町通りを指定しているが、他はどうなのか。
- 説明者
 - ・地区と協定を結ぶことになるが、本町通りだと町屋、平泉寺区だと農家型の建物や石積みだという歴史的なものを景観区域として指定をしているところである。
- 委員
 - ・集落とか市街地、区域というように限定しなければいけないのか。
- 説明者
 - ・地域によって歴史があり、勝山市には古い農家型の建物であったり町屋なり、色々ある。地区の80%以上の方に同意をもらって協定を結ぶ必要があり、個人の財産に規制がかかることもあることから、所定の割合以上の同意が難しかったという地区も存在する。
- 委員
 - ・地区の合意がもらえないと指定できないということか。
- 委員
 - ・特定景観計画区域の指定は経費がかかっているのか。
- 説明者
 - ・指定では経費はかかっていない。歴史的まちなみ景観創出事業補助金制度があり、市内全域が補助対象となるが、特定景観計画区域の指定を受けた区域は上乘せ補助となっている。
- 委員
 - ・本町通りはもう少し活性化しないのか。
- 説明者
 - ・現在は、商店というより住宅化してきているという状況であり、かつての商店街としての賑わいはちょっと難しいと思う。
- 委員
 - ・都会の人と夕方6時半頃に会ったとき、景観はいいが、いつもこんな感じで人がいないのかと問われた。
- 説明者
 - ・日中も確かに同じような状況である。夜になると、ぽつりぽつりと飲み屋が店を開くような

状況ではある。

●委員

- ・大学等と組んで空き店舗を利用し起業する人に補助するとか、空き店舗事業をいろんなところがやっている。

○説明者

- ・市の商工振興課で空き家や空き店舗を利用して、おもてなしを含めた事業展開をしている。本町通りでも空き家があったところを改修して、美容室や飲食店の事業の取組みを行っている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4.4. 快適で雪に強い定住環境の実現

4.4.1. 質の高い住環境の整備 について

●委員

- ・木造市営住宅の集約について、市営住宅の状況はどうか。

○説明者

- ・古くなった木造の市営住宅は、入居の方が亡くなったりした場合には、再募集せずに解体し、木造住宅は無くす方針としている。

●委員

- ・もっと環境のいいところに移ってもらうようにはできないのか。

○説明者

- ・そういった声かけも行っているが、高齢の独居の方が多く、移っていただくとなると鉄筋の市営住宅の高層階しか空き部屋がなく、エレベーターもないことから進んでいない。

●委員

- ・家賃も高くなるのではないか。

○説明者

- ・定額ではなく、その方の収入に見合った家賃を設定するので、急激に高くなるわけではない。

○説明者

- ・移る際には、助成も行っている。

●委員

- ・前年度は正規労働で働いており所得が高かったが、現在は、非正規労働で働いている方の場合、前年度の所得が家賃に反映されるため余裕がない。ちょっと矛盾を感じる。法律で決まっていますどうしようもないのか。

○説明者

- ・公営住宅法があり、条例において金額等を定めている。

●委員

- ・資産の評価はしないのか。

○説明者

- ・申請書類の中にはない。

●委員

- ・福祉とのタイアップが必要だろうが、今、収入がないという人が入居できるというのが有効な対策だと思う。

●委員

- ・入居に関しての基準や判断、評価もきちっとしなければ、周りの方から不満が出てくるような結果になりかねないので、検討していただくとありがたいかなと思う。

○説明者

- ・入居の条件については、もう少し検討を加え、条例改正が必要であれば行いたいと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 4 2. 勝山市総合克雪・利雪・親雪計画の推進 について

●委員

- ・道路における除雪体制の拡充について、今回の豪雪においても、勝山市は一番早く道が除雪されていた。

●委員

- ・自身の子が福井で勤めているが、今年は特に、自分の車で雪を押して県道まで出ていた。集落の中をもう30分早く除雪できないか。

○説明者

- ・通常の降雪が予想される時であれば、市職員が午前3時に集合する。山間地やまちなかでは積雪状況が違うため、確認・判断し、業者の方に依頼を行うやり方をしている。降雪が2~3日続く状態であれば、明日は出てくれという依頼を行うこともある。午前3時をさらに早めることは、毎日のことでもあり難しいと考える。

●委員

- ・毎日だと作業員さんの負担にもなる。

●委員

- ・今回のような雪が続く場合は、業者の判断で出ていただきたいとの依頼を受けることもある。

○説明者

- ・朝、みなさんが通勤に間に合うように、そして夕方は帰って来るまでに道があいてるように依頼している。

●委員

- ・現在は大雪になるとなった場合、午前1時であっても除雪に出ることがある。それでも間に合わない場合もある。10 cmの積雪を基準にしており、北谷から北郷まで何台かの車でパトロールをして、判断してるのだと思うが、大変難しいと思う。

○説明者

- ・午前3時には全然降ってなくて、5時頃から振り出す場合など色々なパターンがある。

○説明者

- ・できるだけ早い判断をして、業者の方に依頼をしていきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 4 3. 水の供給システムの整備 について

●委員

- ・効率的な施設の維持管理について、今年の冬は水不足で断水した。その場合、基本料金等は徴収するのか。

○説明者

- ・特段安くしたという手だてはとっていない。

●委員

- ・新たな水源等はあるのか。

○説明者

- ・浄土寺川ダムに水利権を持っている。しかし、時間がかかり、費用もかなりかかる。また、当然、水道料金に跳ね返ることになり、きちんと見極めて過大投資にならないようにしたいと考えている。

●委員

- ・昔のように水を使う時代ではなくなったと思うが、だからこそ井戸がそんなに枯れるのかと思うのだがどうか。

○説明者

- ・枯れたというより、寒い日が続いて、ずっと凍りばなしであったことと、家庭用の井戸を掘って屋根融雪に使用することもあり、地下水自体がだんだんと下がっているのではないかと思う。井戸が枯れたという話も聞くことがある。

●委員

- ・老朽管の更新は非常に大事なことだと思う。市公認と書いてあるが、市の公認の水道業者は決まっているのか。

○説明者

- ・全国的な資格を取られて登録をされている。勝山市外の業者もたくさんある。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 4 4. 水の処理システムの整備 について

●委員

- ・汚水処理施設の整備促進について、遅羽町の比島地区でも下水工事が始まった。工事が行われてない地区はあるのか。

○説明者

- ・残りは1地区になる。比島地区は合併浄化槽が多く、区としてまとまりにくかったということもあった。

●委員

- ・県内において、勝山市は普及している方なのか。

○説明者

- ・勝山市は昭和51年から下水道事業に着手しており、県下でも早かったと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

Cグループ（健康・教育分野）

担当委員4名

第1章 すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり

1.3. 多様な交流活動の推進

1.3.2. 国際交流の推進 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

第5章 豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり

5.1. 望ましい教育の実現

5.1.1. 教育環境の整備・充実 について

- 委員
 - ・施策指標 小学校・中学校の再編について判断時期未到来としているが、解説をお願いしたい。
- 説明者
 - ・H25に市としてまとめた最初の方針の中では、まず、中学校を優先して検討することとし、その後小学校について検討を開始することとした。そのため、判断時期未到来と記載している。なお、その過程の中で、分校が休校という形で残っていたが、大矢谷分校は修繕して地元へ移管した。細野分校は解体の方向で検討している。双方とも分校としての機能は廃止する。
- 委員
 - ・小中学校の再編は大きなチャレンジだと思うが、個人的な意見としては、財政面や効率化の意味でもチャレンジしてほしいと思っている。ICTに係る取組みについては、どのような状況なのか。
- 説明者
 - ・遠隔授業・研修システム用パソコンとは公共回線を使用して、リアルタイムで遠隔のやりとりができるものである。県の補助事業を活用し、2か年で整備している。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 1 2. 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実 について

●委員

- ・記載された内容は、H29 のものと比較すると、グッと内容が膨らんだものとなっており、すばらしいと思う。Web かつやまに H29 の全国学力・学習調査の結果が掲載されていた。勝山市の状況について、小学 6 年生は県の平均値と同程度であった。しかし、中学生については、やや低かった。この内容についてどのように捉えているのか。

○説明者

- ・H30 の結果も先だって公表されたことから、市の HP にアップしている。結果についてだが、今年度は昨年度と比較し、小学校はもとより、中学校もよい結果であった。若干、年回りのなものもあるのではないかと考えているが、学力調査の結果を受けて、県を中心として特に悪かった点に、どう対応したらよいのか分析しており、勝山市レベルでも分析をしている。そこから、各学校とともに改善策を講じている。それでも、ばらつきが出てしまうのが実状である。

●委員

- ・以前、スクラップ&ビルドという言葉が教育現場において、よく使われていたが、教職員の業務においては、実際のところビルドばかりであり、近年、たいへん疲弊している。特に、中間層がそのような状況にあり、重要なポイントを絞ってしっかり取り組む中で、もっとスクラップに取り組んでもらわないと、状況はどんどん厳しくなると思う。トップダウン的な手法も含めて、対策を考えてほしい。

○説明者

- ・教職員の多忙化は、全国的な問題であり、国においても色々な方針・方策を打ち出している。例えば、部活動の見直しであり、スポーツ庁も 1 つの方針を示した。ただ、国において実際に審議を行った委員の方々の中には、「実際に実行することは難しい」と考えている方もおられるようであり、本市にあてはめても、現実的でないと思われる部分がある。全員が業務をやめて、早く帰る日を設けるような取組みがやはり必要であると思う。一律に実施することは難しいが、校長会において「働き方改革」について検討する場を設けており、話し合いを深めている。その場において、ぜひ、本日もいただいた意見を伝え、少しでも改善に努めていきたい。

●委員

- ・子ども達にしわ寄せがいかない形で、前例踏襲でなく、思い切った改革を行ってほしい。勝山市だからこそできるような、モデルを打ち出すのもよいのではないか。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 1 3. 「生きる力」を育む市民活動の展開 について

●委員

- ・施策指標 児童・生徒の地域行事への参加指標について、中学生になると時間的に参加することはなかなか厳しいのではないかと思う。あてはまらない方については、どういう理由からそう判断しているのか。

○説明者

- ・調査は、学校を通じて行っている。詳細までは把握していないが、中学生になると部活動等に時間を割かれ、地域の行事に参加しにくい状況があるようである。ただし、文化祭や運動会への参画と協力については、積極的に行われている。

●委員

- ・部活動があるということも大きな理由だと思うが、中学生になるとなんとなく参加しにくいというのもあるのではないか。小学生と中学生が一緒になって取り組む方策を考えたり、部活動を休みにするのもよいのではないか。

●委員

- ・確かに中学生は、土日にも部活動があり、多忙であると思う。ただ、地域に入って、縦のつながりをもつことは大切なことだと思う。中学生になってからも、小学生と触れ合う機会があることはとてもよいことである。先生方自身が思い切って、快く地域に送り出すことも必要である。部活の実施にあたり、子どもの意思を尊重することも大切だが、休養をしっかりとらせ、切り替える感覚を養うことも必要だと思う。そうでなければ、疲れもたまっていく一方であり、地域行事への参画はとても難しいと思う。

○説明者

- ・例えば、地区の壮年会によるそば打ち大会のような地域行事に中学生の参加を促す取組みを行っている。継続して、各地区に呼び掛けていきたい。

●委員

- ・子ども達がイベントに参画する流れが1度できてしまうとよいのだと思う。

子どもの安全安心活動の周知と推進について、ボランティアが行っている子どもの見守り活動はよい取組みだが、きちんとした組織体制が確立されていない。市にはかつやまっ子応援ネットワークという組織がすでにあり、その中に取り込むことができると思うのではないか。

●委員

- ・見守りたい活動は、活動を始めたころ、とても早く協力者が集まっていた。しかし、その後、新規協力者の獲得には非常に苦労していたようである。学校が協力者を探すことは難しく、組織の整備や仕事の分担が必要だと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5.2. 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現

5.2.1. 国史跡白山平泉寺旧境内を中核にすえたまちづくり について

●委員

- ・H29 は旅行者によるバスツアーの流れが非常に効果的だったと感じている。今年の状態はどうか。

○説明者

- ・昨年度の大きな流れとして、6月に旅行者であるクラブツーリズムのツアーがあり、人があふれかえった。(2日間で3,000人)今年度についても、クラブツーリズムのツアーでは、東京・大阪・名古屋の3大都市圏から、年間を通じて月に3~4回のペースでバスが来ており、最近は、NHKのチャンネルや林修先生のPR効果もあり、個人旅行者が増加している。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5.2.2. 歴史遺産の保護・活用の推進 について

●委員

- ・施策指標 国重要文化財旧木下家住宅の見学者数について、H31も200人というのは少ないのではないか。

○説明者

- ・H28の総合計画改定時には、開館以降の運営形態が不透明な状況であった。県内には同様の古民家が7棟あるが、運営形態はそれぞれ異なり、それらを研究するなかで、旧木下家住宅については、地元を中心に活用いただくこととなった。本計画内においては、目標を変更せず実績値を報告することとし、次期計画時には実状に即した目標設定を行う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 3. いきいきと学ぶ生涯学習の推進

5 3 1. 学習機会と施設の充実 について

●委員

- ・施策指標 公民館での学級・講座への参加者数について、公民館での学級については、内容も毎年パワーアップし、講師も増えていることから、年々よくなっていると本当に感じている。参加者は減少しているとのことだが、受ける側も選択の範囲が広がっているのだと思う。

○説明者

- ・数値の訂正をお願いしたい。公民館学級の実施状況について、H28 の講座数は 173 回でなく、138 回が正しい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 3 2. 生涯学習の推進に向けた人材の育成 について

●委員

- ・施策指標 生涯学習人材バンク利用件数について、H27 は 23 件、H28 は 22 件ということで伸び悩んでいるのだと思う。人材バンクを実際に拝見したが、結構な数の方に登録いただいている。公民館学級もそうだが、地域のサロンや保護者のイベント等にまで利用対象の範囲を広げるとよいのではないか。

例えば、地区で問題ごとがあった時に、それを解決に導いてくれるような方を登録できるとよいのではないか。せっかくの人材バンクなのだから、発信の仕方も少しずつ拡大していったらどうか。

○説明者

- ・伸び悩んでいることについては、本当に頭が痛い。区長会や公民館の館長・主事に利用をお願いしているが、なかなか伸びていかない。今年は、生涯学習活動のグループに声かけを行っており、情報周知の範囲をもっと広げていきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 3 3. 自然体験学習・ジオパーク学習の推進 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

534. 図書館機能の充実 について

●委員

- ・施策指標 市立図書館への年間入館者数について、H29 は大雪の影響もあり減少したのだと思うが、図書館利用者の年齢層割合はどうか。

○説明者

- ・統計をしっかりと取ったことはないが、日中については年配者の利用が多い。本を読むだけでなく、日課として新聞や雑誌を読んでいる方もおられる。また、ブックスタート事業を始めた関係で、赤ちゃんに絵本を読ませる方が増加していると思う。公民館との連携事業も展開しており、地元公民館で気軽に本を借りて読んでもらうようにしている。H29 において借りられた本の割合だが、全 113,000 冊のうち、小説など一般書の貸出が一番多く 53,000 冊、その次が児童書で 48,000 冊となっている。

●委員

- ・図書館を勉強をするために活用する方がいると思うが、ややスペースが狭い。もし、可能なら、そういうスペースを拡大するのもよいのではないか。

●委員

- ・ブックスタート事業はいつから始めたのか。すごくいい取組みだと思う。それにあわせて、児童図書も充実し、読み聞かせをするにも本を選ぶ幅が増えた。今の子どもたちは、特に本を読まないのだから、そういう機会を与えて育てることは大切である。同時に、紙に触れることも大切だと感じている。ブックスタート事業は、ぜひとも続けてほしい。

○説明者

- ・H27 からスタートしている。ぜひとも継続していきたい。

●委員

- ・学校図書館支援事業について、図書館の支援員の方が学校に出向き、手伝ってくださっているのだと思う。学校図書館の管理は教員だけではままならない状況である。以前は、子ども達の委員会活動があったことから、よく働いてくれたが、今は委員会活動の時間もなかなか取れない。春先の登録作業や細やかな飾りつけ等の協力に学校は感謝していると思う。中学校はすべて完了しているのか。

○説明者

- ・研究大会にあわせ、南部中学校から始めている。背ラベルの貼付けから始め、地道に作業を行った後、データ化を行っている。平成 29 年度は、中部中学校下の作業を行い、どの学校にも喜んでいただいている。ハード面だけでなくソフト面の対応も強化していきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 4. 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興

5 4 1. 伝統文化の保存継承 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

5 4 2. 文化芸術活動の充実 について

- 委員
 - ・市民総合文化祭には、たくさんの団体が参画し、準備や練習をしているのだろうが、お客さんが少ないのは残念だ。子どもを巻き込むことはやはり、お客さんの増加に大きな効果を発揮すると思う。
- 説明者
 - ・1つの試みとして、恒例であるオープニングセレモニーについて、例年はAM10:00からスタートしているが、芸能発表の始まるPM1:30まで間隔が空いてしまうため、今年はPM1:00のスタートとして、連続性を持たせることで、帰宅するお客さんをできる限り少なくしたいと考えている。新たな参加者の確保に向けた声かけは引き続き行いたい。
- 委員
 - ・チラシの内容を見ても、やはり古典的な印象を受けてしまう。去年のキッズダンスショーのようなものがあると、確かにお客さんは増えると思う。
- 委員
 - ・吟舞のような文化を知ることも大切だと思うが、お客さんの確保には直結しにくいのだと思う。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

5 5. いきいきと輝くスポーツの振興

5 5 1. 競技スポーツと生涯スポーツの推進 について

- 委員
 - ・施策指標 勝山恐竜クロカンマラソンへの参加者数について、勝山市以外の方へのPRはどうしているのか。未達成となっているが、全国的にあちこちでマラソン大会が開催されており、仕方ないと思う。勝山市内からの参加者は何人いるのか。市内だけで参加者は増加するのか。対外的にも増やしていかなければならないのではないか。

○説明者

- ・H29に参加者が減少したということもあり、14回大会については、過去に走ってくださった方やランナーズのネットワークに登録していただいた方に参加のご案内をした。、ただ、今年、国体の関係で開催日を例年より前倒しし、あわらのトリムマラソンと同日になってしまった。ネットによる申込者数自体は減少していない。

●委員

- ・まず、地元の方自身が楽しいと思わなければ人は集まらず、イベントとしても成功しないと思う。おもてなしの充実は非常に重要である。ネット登録している方への発信に加え、SNSで会場の様子をリアルタイムで情報発信できる仕組みを作るのも面白いのではないか。みんなが楽しめる環境づくりを心がけてほしい。

○説明者

- ・コースが通常のマラソンと比較して過酷であり、おもてなしの面が特に大切だと考えている。

●委員

- ・大野市の名水マラソンには、4,208人の方が参加している。新しい取組みをどんどん行っている気がする。今年のゲストは荻原健司さん、去年は千葉真子さんであり、お金はかかるかもしれないが、企画が目新しく興味がわくと思う。若い人の知恵をプロデュースや広報活動に活かしているのではないか。学校の先生方が参加する児童の管理をしているのもおかしい感じがした。ほかのマラソン大会にない魅力が相手に伝わるよう、改革してほしい。

○説明者

- ・提案をいただき、ありがたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 5 2. 体育施設の整備・充実 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

5 5 3. 平成30年国民体育大会の開催 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。